

各位

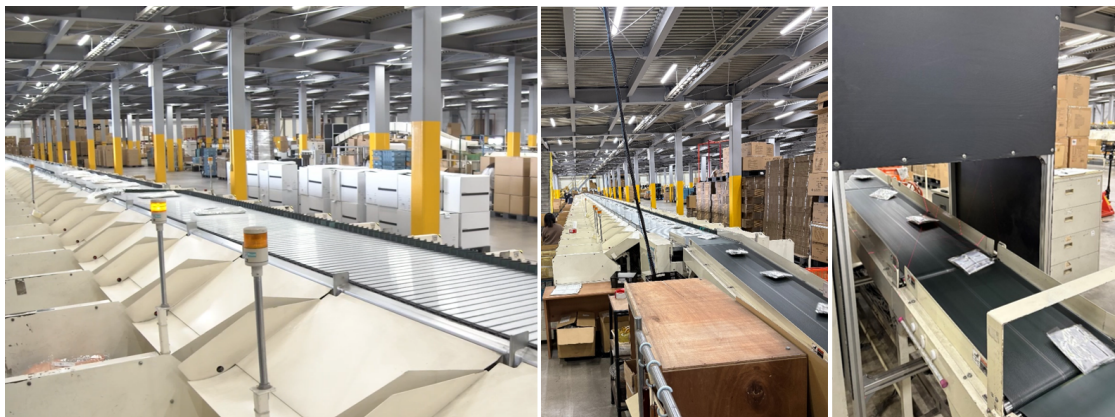
会社名 株式会社 マ ッ ク ハ ウ ス
 代表者名 代表取締役社長 石 野 孝 司
 (コード番号 7603 東証スタンダード)
 問合せ先 取締役管理統括本部長 小 林 大 介
 (TEL：03 - 3316 - 1911)

株式会社マックハウス（本社：東京都杉並区、代表取締役社長 石野孝司、以下「当社」）は、ジーエフ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：児玉芳彦）のFCである株式会社ウィンフィールド（本社：愛知県大府市、代表取締役：柴田明義）に倉庫業務を委託し、新たな当社物流センターの本格稼働を開始したことをお知らせいたします。



◆移転の背景

近年、Eコマース市場の拡大に伴い、迅速かつ正確な物流へのニーズが急速に高まっています。このような市場環境の変化を受け、次世代の物流拠点として、物流センターの移転計画を進めてまいりました。



◆新物流センターの特徴と効果

新たな物流センターでは、最新の自動ソータシステムを導入することで仕分け速度が飛躍的に向上（従来比約2倍）。店頭までの納品日程を短縮することが可能となり、特に繁忙時における欠品の抑制効果が期待できます。また、各工程の大幅な効率化とともに、人件費削減による物流コストの圧縮も図ります。

< システムの特徴 >

1. 各作業工程の省力化

物流倉庫内の作業工程を自動化することで省人化を実現

2. 入出庫作業における自動ソータ物流システムの活用

最新の自動ソータ物流システムを活用することで、入庫から出荷までの作業工程の効率を向上

3. ピッキングレイアウトの最適化

ベンダー在庫を管理することにより、倉庫内ピッキングレイアウトの最適化が可能

< 主な改善効果 >

処理精度向上 : 各工程の自動化によりヒューマンエラーを大幅に削減

作業効率化 : 入出庫作業をほぼ自動化することで効率化し、物流コストを削減

配送スピード向上 : 店舗への納品を最大2日短縮

◆新物流拠点の概要

店舗向け物流センター	個人向け物流センター（EC共配）
名 称：マックハウス海津物流センター 所 在 地：岐阜県海津市海津町江東264-1 株式会社ウィンフィールド内 総延床面積：6,000坪 主要設備：自動ソータシステム	名 称：マックハウス神戸 EC 共配センター 所 在 地：岐阜県安八郡神戸町神戸1753-5 株式会社ウィンフィールド内 総延床面積：425坪（MH商品区画） 主要設備：PTI 配分システム

◆今後の展望

新物流センターにおいて物流基盤の強化および最適化を図ることで、持続可能な物流を実現するとともに、お客様の多様なニーズにお応えし、お客様満足度の向上を目指してまいります。

【会社概要】

株式会社マックハウス
所在地：東京都杉並区梅里1-7-7 SKTビル6F
事業内容：カジュアル衣料品及び関連雑貨の販売

【各種リンク】

コーポレートサイト <https://biz-mac-house.jp>
ニュース一覧 <https://biz-mac-house.jp/news>

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社マックハウス 管理部広報IRグループ 堀池 TEL：03-3316-1911